

平成二十四年七月二十四日 天橋立文殊堂「出船祭」

出船祭の由来

太古の昔、いざなぎのみこと、いざなみのみことという神様が、日本列島、そして天橋立をお造りになりました。

この神様が出来上がった地上を、ごらんになりますと、悪龍が大暴れして、人々が住む事ができません。神様たちは、毎日相談されました。やがて、いざなぎのみことのお申し度には、何と云っても、中国五台山におられる文殊菩薩こそ智恵第一の仏様で、昔から龍神の導師である。悪龍もきくと改心するであろうと。そこで神様達は、五台山から日本海の荒海を越えて、文殊菩薩を丹後天橋立のこの久世の戸（文珠）へお迎えされたのであります。文殊菩薩は千年の間、この文珠の地でやさしく慈悲の心をもって説法をされました。やがて改心して善龍となった龍は、仏に帰依し、人々を守護することを誓ったのであります。

これが今、智恩寺に伝わり、鎌倉時代の作であるといわれております「久世の戸縁起」に記されている由来であります。

プログラム

時間	催事名	内容	場所
18:40	奉納式	安全祈願祭・奉納舞	智恩寺 文殊堂
19:00	もんじゅえ文殊会	会式	智恩寺 文殊堂
19:30	オープニング	火の滝太鼓 文珠子供会 「龍宮音頭」他	海上浮舞台
海上絵巻『久世戸縁起』			
20:00	採火式 練行	智恩寺より灯りを頂きます お灯明を智恵の輪灯籠へ	智恩寺 文殊堂 → 智恵の輪
20:10	海上序節	悪龍の舞 読経 海上万灯会 流し灯籠	廻旋橋 文珠水道
	菩薩来場	船渡御 菩薩舞	海上浮舞台
	悪龍調伏の儀	村で暴れる悪龍を、菩薩は説法で諭します	
	静の舞	菩薩の説法で悪龍は過去の悪事を改めます	
	龍神の舞	善龍となった龍は、人々を守護することを誓い、菩薩と歓喜に酔いしれます	
	海上フィナーレ	立ち火花火 スターマイン	文珠水道 橋立明神沖
20:45	環御	菩薩と龍神は天に舞い戻ります	智恩寺山門前に移動
21:00	龍王の舞	龍神歓喜の舞	智恩寺山門前
21:20	天橋立文殊堂「出船祭」終了		